



昭和56年(1981年)の「びわこ国体」「びわこ大会」以来**44年ぶり**に開催する
「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の成功を目指しています！

背景

大会名	国民スポーツ大会（国スポ）	全国障害者スポーツ大会（障スポ）
概要	○都道府県持ち回りで毎年開催するスポーツの祭典 ○ 天皇杯（男女総合優勝） と 皇后杯（女子総合優勝） の獲得を目指し、都道府県対抗で正式競技を実施	○国スポと同都道府県で開催する障害者スポーツの祭典 ○障害のある選手がスポーツの楽しさを体験 ○国民の 障害に対する理解 と 障害者の社会参加 の推進
開催期間	令和7年（2025年）9月28日～10月8日	令和7年（2025年）10月25日～27日
実施競技	○正式競技〔 37競技 〕	○正式競技〔 14競技 〕
参加者数	<u>約77万人（選手・監督、観覧者等）</u>	<u>約10万人（選手・監督、観覧者）</u>

競技力の向上

目標：**滋賀県選手の活躍**による大会の盛り上がり

- ・国スポでの天皇杯・皇后杯獲得、障スポでの選手300人出場

現状：

- ・栃木国体（2022年）では**男女総合20位**、**女子総合24位**
- ・栃木障スポでは**選手55人**が出場

⇒ **さらなる選手の発掘・育成・強化が必要**

大会の広報

目標：**県民総参加**による大会の盛り上がり

- ・県民全体での大会の観戦やボランティア活動などへの参加

現状：

- ・県民への調査（2021年）では**大会認知度38.4%**

⇒ **より一層の広報活動が必要**

現状の課題

事業の
目的事業
内容

競技力の向上

選手の発掘・育成・強化により、

- ・国スポ・障スポでの選手の活躍
- ・大会後の国際大会等での選手の活躍
- ・指導者となった選手による次世代の育成



栃木国体バスケット
成年女子
(優勝)

- 次世代アスリート発掘育成プロジェクト
(県内小学生5年生を対象とした育成プログラム実施)
- 競技団体育成・強化対策事業
(パラアスリートの育成支援)
- ターゲットエイジ重点強化事業
(国スポの少年種別の主力となる選手の強化)



次世代アスリートの発掘・育成



大会の広報

大会の広報により、

- ・県民の大会認知度UP
- ・県民の大会ボランティア等への参加



栃木障スポ
選手団サポート
ボランティア

- 多様なメディアを活用した広報
(新聞・テレビ・インターネット広告など)
- 広報掲出物品を活用した広報
(駅やバス・電車の装飾、ポスター掲示など)
- イメージソングを活用した広報
(テレビ・ラジオ放送など)



新聞広告



バス装飾



得られる
成果等

大会成功後の滋賀の未来像

スポーツへの関わり増加による健康づくり
障害者理解・交流による共生社会の実現



銘板の設置

- 10万円以上の寄附が対象
- 大会のメイン会場となる彦根総合スポーツ公園陸上競技場に設置
(銘板の大きさは金額に応じて)
- 大会後も後世にわたり顕彰



銘板例 (琵琶湖博物館)



陸上競技場完成イメージ

感謝状の贈呈

- 10万円以上の寄附で感謝状贈呈
- 100万円以上の寄附で感謝状贈呈式に招待
- 大会HPや大会SNSなどのメディアへの掲載



贈呈式の様子

連絡先

滋賀県文化スポーツ部国スポ障スポ大会局
(わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会)
担当：内海
TEL：077-528-3338 (直通)
Mail：kokusyo-koho@pref.shiga.lg.jp



大会HP

寄附を
する
メリット
等